

■クルスカ、北東北に初登場

今まで医療現場で使われていた痩身用治療器は、「温めて脂肪の代謝をあげる」ものや、「超音波で脂肪を壊す」ものなどがありました。しかし、クール・スカルプティング(以下クルスカ)は「脂肪をシャーベット状にして減らす」という、今までとは全く異なる痩身治療です。

脂肪吸引は、確実に脂肪を減らす一方、安全性に課題がありました。クルスカは、お腹、ウェスト周りなど気になる部分に低温の器具を装着するだけ。シャーベット状になった脂肪細胞は、2-4 カ月かけて体外に排出されます。皮膚や血管な

どには負担をかけずに脂肪細胞の数だけが減少するため、リバウンドは殆どありません。

夢のような痩身器具、その名はZELTIQ(ゼルティック)

平成26年8月分 NAVI

平成27年2月分 つがる

はらクリニック 原 徹